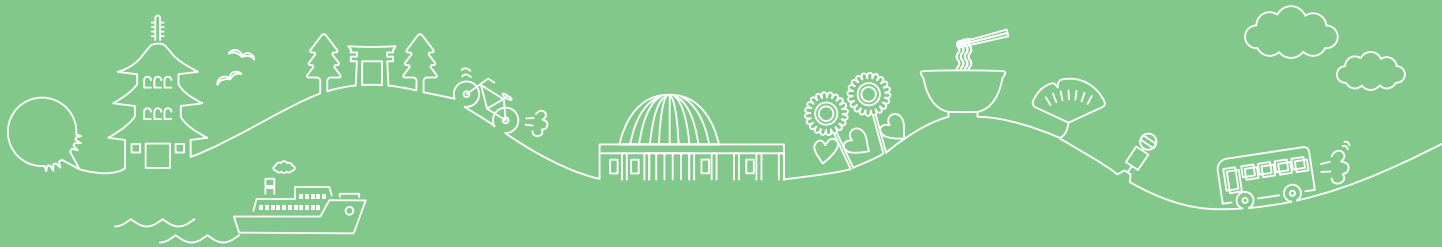


第4章 人口フレーム

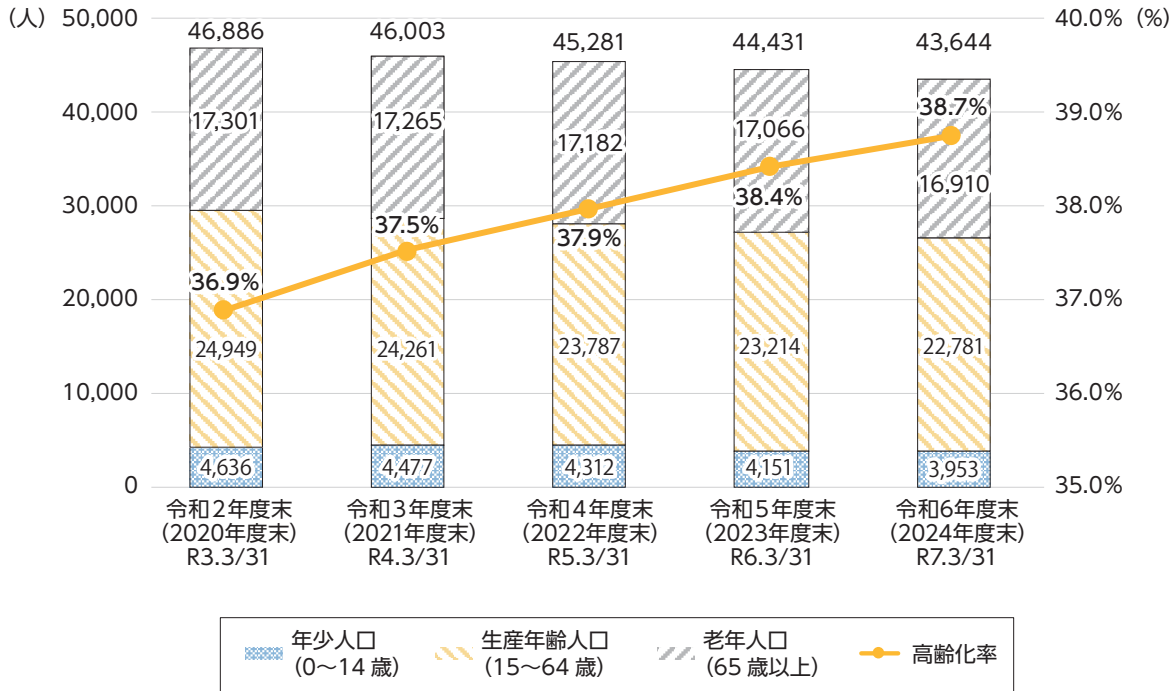


KASA●KA

1 人口の動向

(1) 年齢3区分別人口の推移

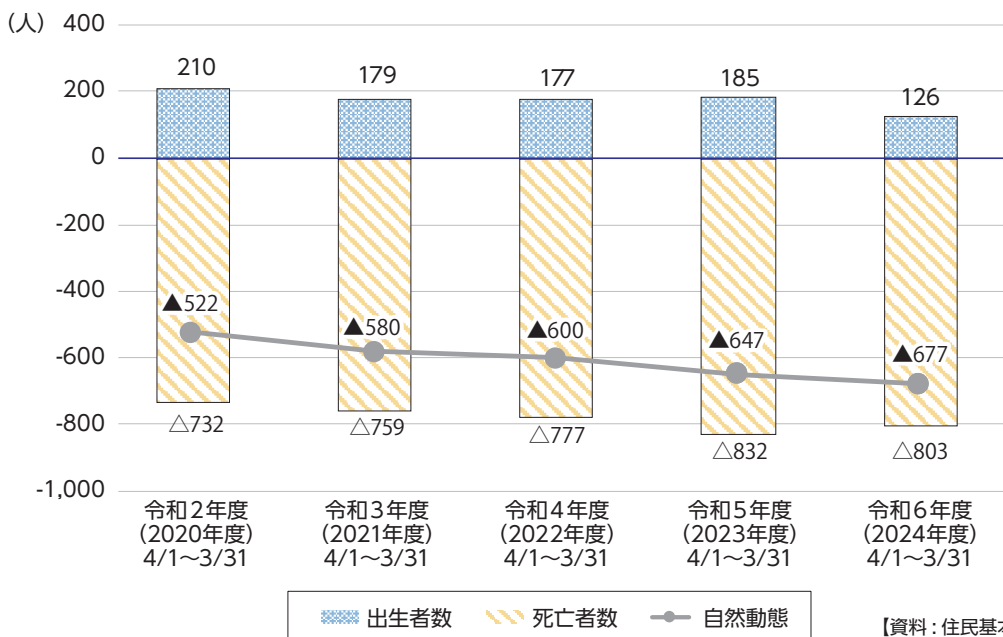
令和6年度(2024年度)末〔令和7年3月31日〕現在の人口は、43,644人となっており、年々減少しています。年齢区分を見ると、少子化・高齢化が進行しています。



【資料：住民基本台帳】

(2) 出生数と死亡数の推移

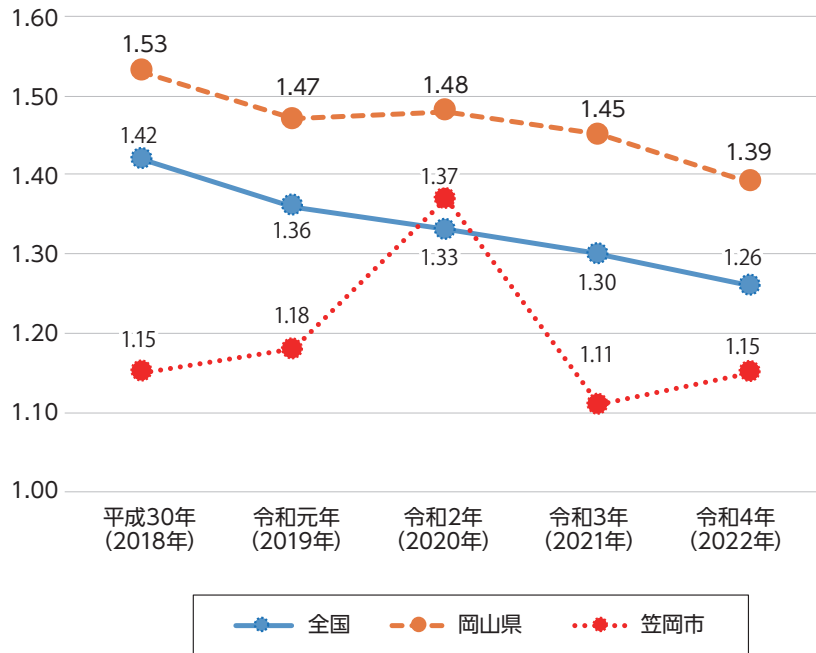
出生数はおおむね減少傾向にあり、特に令和6年度は大きく減少しています。死亡数は700~800人台で推移しており、自然減が続いています。



【資料：住民基本台帳】

(3) 合計特殊出生率の推移

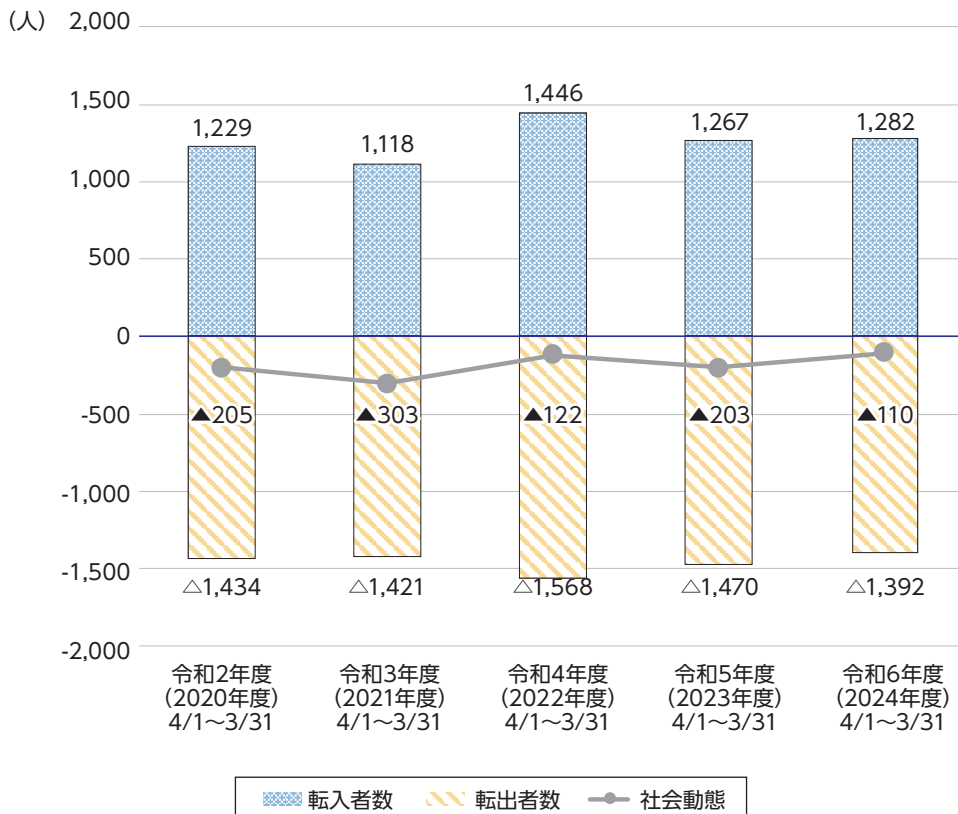
合計特殊出生率は、ほとんどの年で、全国及び岡山県を下回って推移しています。



【資料：岡山県衛生統計年報】

(4) 転入者数と転出者数の推移

転入者数と転出者数の差はマイナスで推移しており、社会減の状態が続いています。



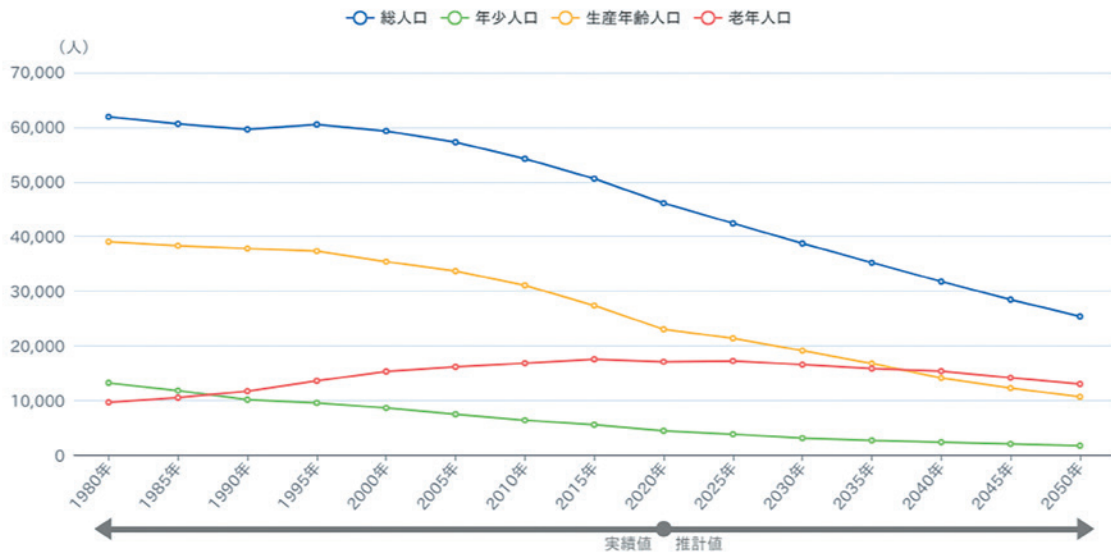
【資料：住民基本台帳】

2 笠岡市の将来推計人口

国立社会保障・人口問題研究所の令和5年推計によると、このまま推移した場合、令和12年(2030年)には総人口が38,729人、令和17年(2035年)には35,203人、令和32年(2050年)には25,357人となる見込みです。

人口推移グラフ

岡山県笠岡市



【出典】

総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

単位：人

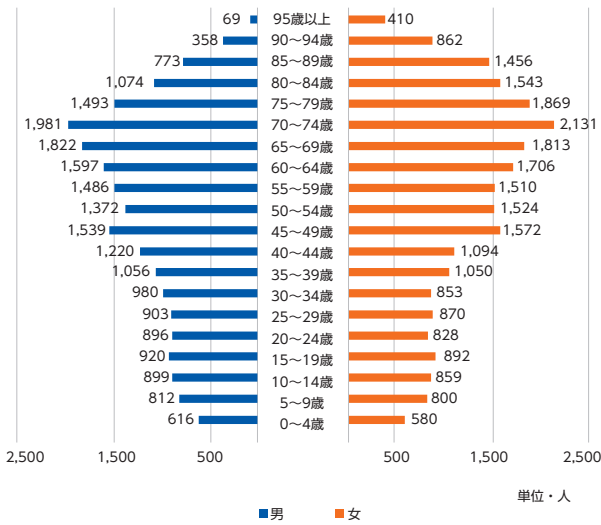
	総人口	年少人口 0～14歳	生産年齢人口 15歳～64歳	老年人口 65歳以上
1980 (昭和55年)	61,917	13,182	39,068	9,667
1985 (昭和60年)	60,598	11,813	38,295	10,490
1990 (平成2年)	59,619	10,123	37,819	11,677
1995 (平成7年)	60,478	9,575	37,330	13,573
2000 (平成12年)	59,300	8,610	35,406	15,284
2005 (平成17年)	57,272	7,453	33,665	16,154
2010 (平成22年)*1	54,225	6,350	31,046	16,818
2015 (平成27年)*2	50,568	5,549	27,466	17,553
2020 (令和2年)*3	46,088	4,566	23,868	17,654
2025 (令和7年)	42,405	3,791	21,373	17,241
2030 (令和12年)	38,729	3,071	19,112	16,546
2035 (令和17年)	35,203	2,647	16,748	15,808
2050 (令和32年)	25,357	1,733	10,636	12,988

*1 年齢不詳の11人が、各年齢区分に含まれないため、総人口と一致しません。

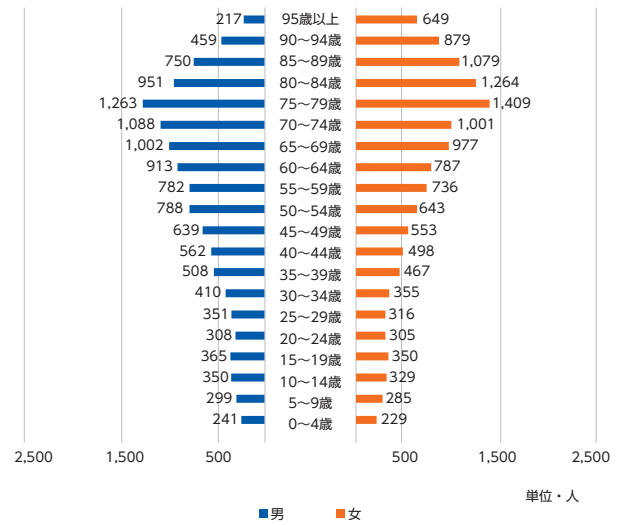
*2 *3年齢不詳者は、平成27年国勢調査に関する不詳補完結果(遡及集計)及び令和2年国勢調査に関する不詳補完結果によります。

【資料：国勢調査】

5 歳階級別人口構造
(令和2年・2020年)



5 歳階級別人口構造推計
(令和32年・2050年)



【資料：国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計」】

3 総合計画・総合戦略の実施を踏まえた人口推計

今後も人口減少や少子化・高齢化が進むことで、地域における担い手不足や、それに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念されます。

これらの課題に対応するため、第3章「基本計画」及び第5章「総合戦略」に掲げる施策を着実に推進することを踏まえて、前節に記載の国立社会保障・人口問題研究所の令和5年推計を参考としつつ、市独自に基準を設定して人口推計を行います。

独自推計の考え方

(1)合計特殊出生率※

国立社会保障・人口問題研究所の推計では、令和7年(2025年)以降、合計特殊出生率を1.21～1.28程度としています。近年の本市の出生数の低下を踏まえ、令和7年(2025年)に1.05、令和12年(2030年)に1.10、令和17年(2035年)に1.15とします。

(2)社会動態

転入者数と転出者数の差はマイナスで推移していますが、令和7年(2025年)以降、純移動率※が、前5年間と比較して30%改善を目指します。

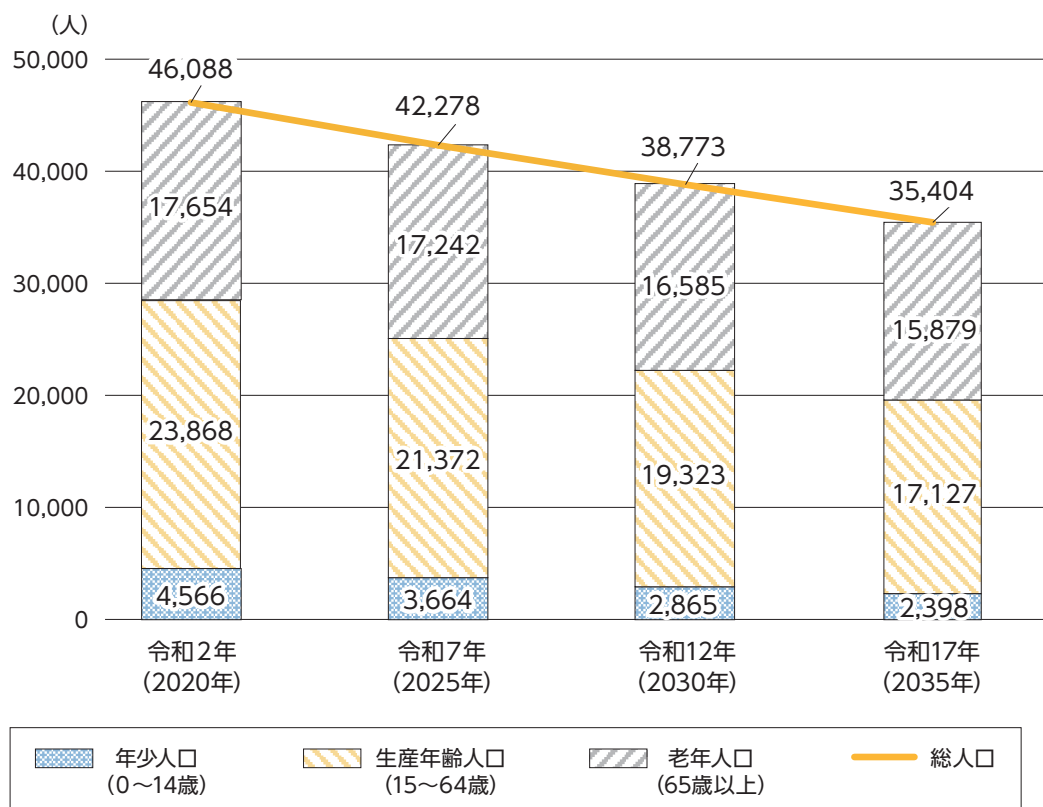
※合計特殊出生率とは、一人の女性が生涯で産むこどもの平均数を示す指標です。

※純移動率とは、特定の時期と場所において、移入した人口と移出した人口の差を示す指標です。

独自推計結果

単位：人

	総人口	年少人口 0～14歳	生産年齢人口 15歳～64歳	老年人口 65歳以上
令和2年(2020年)	46,088	4,566	23,868	17,654
令和7年(2025年)	42,278	3,664	21,372	17,242
令和12年(2030年)	38,773	2,865	19,323	16,585
令和17年(2035年)	35,404	2,398	17,127	15,879



4 将来の人口フレーム

前節に記載の「総合計画・総合戦略の実施を踏まえた人口推計」に基づき、計画最終目標年次〔令和15年(2033年)〕に置き換えた独自推計人口を、本計画の将来人口フレームとして採用するものとします。

令和15年(2033年)の本市の人口は、**37,000人**を目標とします。